佐野常民のお悩み相談 3つのQときっとA

小学校2年生のときに佐賀の七賢人・佐野常民が大好きになって自由研究をはじめ、3年目になりました。最近私にも悩みが出てきました。もし佐野常民が生きていたらどんなふうに解決してくれるんだろうとよく思います。今まで佐野常民の能力や人柄について調べてきたので、今回はそれをもとに、こんなことを聞いたらきっとこんな答えがかえってくるのでは、と大予想しながら、佐野常民の魅力がわかるQ&Aをつくっていきたいと思います。

Q1 最近宿題をしていると眠くなってしまいます。佐野常民さんはどうでしたか？また、小学4年生の今の私に何が必要だと思いますか？

A1 なるほど。わしもたしかに眠かったのう。藩校（弘道館）のお勉強はもちろん大事じゃが、人と交わり人を見る力を養うのも大事なことなんじゃ。

きみは小学4年生か。そうするとわれらが直正様がつくってくださった「蒙養舎」世代だな。たしかにわしもそのころ勉強をしているときとても眠かったのう。じゃがわしは今のきみと一緒の9歳のときに佐賀藩医だった佐野常徴の養子となって、医者を継ぐための勉強を始めたんじゃ。だから、眠くても一生けん命じゃった。きみには夢があるのかの？あるのであれば、眠くてもそれに向かってがんばるのじゃ！また、佐賀藩には早くから弘道館があり、古賀穀堂先生が「教育は削らず逆に3倍に増やすべき」など意見するなど早くから教育の重要性がわかっていた藩でもあったのじゃ。わしも弘道館でたくさん大好きな勉強をして、たくさんの仲間と出会い、江戸、大阪や京都に出て医学や蘭学、造船、砲術などをなかよく一緒に学んだのじゃ。なかでも京都で出会った田中久重など4人の仲間と出会えたことで、日本初の実用蒸気船「凌風丸」や反射炉を作ることができたのじゃ。これまでもそうじゃったが、これからの佐賀を、日本を支えていく「人」がとても大切なんじゃよ。きみもそんなすてきな仲間と出会い、「すてきな人」になってくだされよ。

Q3 最近慣用句や格言が好きです。佐野常民さんの好きな言葉、伝えたい言葉は何ですか？

A3 「失敗しても決してあきらめない」ということじゃ！

わしが好きじゃった言葉は『中庸』の「他人が1回でできることなら自分は100回やってみる。人が10回でできることなら自分は1000回やってみる。てっていした努力を重ねれば、だれでも必ず目的を達成することができる」じゃ。反射炉を作ったときも反対が多かった博愛社設立のときも、失敗することは多かったが、決してあきらめないという強い気持ちでがんばっておったんじゃ。きみは何かやりたいことはあるかの？その夢に向けてぜひ決してあきらめずにがんばってくだされよ。

今までの佐野常民の自由研究

Q2 私は佐賀が大好きです！佐賀のことを全国の人たちに知ってもらうにはどうすればいいですか？

A2 とにかくその思いをみんなにPRすることが大事じゃ！

わしも佐賀が大好きじゃ！1867年「パリ万国博覧会」では佐賀藩派遣団の団長として、1873年「ウィーン万国博覧会」では博覧会事務局の副総裁として世界に佐賀藩のよさ、日本のよさをPRできるチャンスに2回も恵まれて幸せじゃった。ちなみに「ウィーン万国博覧会」の総裁は、佐賀の七賢人・大隈重信さんだったのじゃよ。日本を世界にPRするトップ2がどちらも佐賀人とは、われながらすごいことじゃのう。きみも佐賀が大好きな思いをぜひ日本だけでなく世界にPRしてくだされ。

まとめ

もし佐野常民が生きていたら、と思って考えた今回、やっていてとても面白かったです。今回まとめた中で佐野常民の「決してあきらめない」強い気持ちが特に大好きです。なかなかうまくいかないことが多いけれど、そんなときは、佐野常民の好きな『中庸』の言葉を思い出しながら、がんばろうと思います。知れば知るほど、佐野常民のすごいところ、自分が生まれ育った佐賀のすごいところにいつも感動しています。私も将来世界で人の役に立つ仕事がしたいと考えています。昔の佐賀の人たちの世界での活やくを考えると勇気がわいてきて、もっと挑戦ができると思います。そんな元気ややる気パワーをくれる佐野常民が、私はやっぱり大好きです！！

参考文献

『佐賀偉人伝09 佐野常民』（佐賀県立佐賀城本丸歴史館）『人間の生命につかえて 日本赤十字の父 佐野常民』（佐賀新聞社）
『佐賀の幕末維新 八賢伝』（出門堂）
『日本赤十字社の創設者 佐野常民』（佐賀市佐野常民記念館）
『日本赤十字社の父 佐野常民』（日本赤十字国際人道研究センター）
『佐野常民』（佐賀市佐野常民記念館）
『ここからはじまる誕生秘話 日本赤十字社と国際赤十字』（日本赤十字社熊本県支部）